



No challenge, No future

One2030始動。
果敢な挑戦で、1,000億円企業へ。

株式会社PILLARは、100年を超える歴史の中で「流体を制御する確かな技術」と「お客様からの信頼」を築いてきました。私たちは2030年度を見据え、新たな中期経営計画「One2030」をスタートさせ、売上高1,000億円、海外売上高比率50%以上の達成という高い目標へ踏み出します。

初年度である2026年度は「No challenge, No future」のスローガンを掲げ、変化の激しい時代において、現状に安住せず、能動的に変革を起こす組織文化を醸成していきます。積み上げた強みを基盤に、世界中のステークホルダーから「選ばれ続ける企業」を目指し、飽くなき挑戦を続けていきます。

社是

品質第一 和衷協力 一歩研究

パーパス

“社会を支える”未来を創る
CLEAN SAFETY FRONTIER

PILLAR CORE VALUES		
Integrity	誠実	プロフェッショナルとして、高い倫理観を持ち誠実に行動する
Innovation	革新	イノベーションにチャレンジし、より良い未来社会へ貢献していく
Progress	改善・改革	改善・改革を積み重ね、本質的な進化を図っていく
Human Resources	人財	事業活動を通して、高い専門性やリーダーシップだけでなく、社会性も兼ね備えた人財を育む
Team	仲間	多様性のある仲間の知恵や能力により相乗効果が生み出されるチームを作る

グループ行動指針

「グループ行動指針」は、株式会社PILLARおよびそのグループ会社の役員および従業員が日々の業務活動を行う中で、特に重要な行動指針となるべき内容について定めたものである。

社員はこの指針の実践を自らの重要な役割として、率先垂範する。

グループ行動指針の詳細は当社ウェブサイトをご覧ください
<https://www.pillar.co.jp/ja/about/philosophy/>

CONTENTS

01 イントロダクション

- 1 社是／パーパス
- 2 PILLAR CORE VALUES
- 3 CONTENTS
- 4 本レポートでお伝えしたいこと
- 5 数字が語るPILLARの現在と2030

02 メッセージ

- 7 社長メッセージ
先読みと差別化で「稼ぐ力」を高め、
挑戦する組織文化を育みながら、
2030年「1,000億円企業」へ



03 特集

- 13 PILLARの営業・技術の
「社内連携」を紐解く

04 PILLARグループの価値創造

- 17 「稼ぐ力」の方程式
- 19 価値創造プロセス
- 21 マテリアリティ
- 25 競争優位性の源泉
- 26 強みと競争優位性
- 27 競争優位の変遷
- 29 ビジネスモデル
- 31 暮らしと環境に創出する価値

05 PILLARグループの成長戦略

- 33 新中期経営計画「One2030」
- 37 副社長メッセージ（財務戦略・人財戦略）



事業戦略

- 41 セグメント概要 電子機器関連事業
- 43 セグメント概要 産業機器関連事業
- 45 グローバル戦略
- 47 研究開発
- 49 知財戦略
- 50 品質保証
- 51 IT・DX戦略

サステナビリティ戦略

- 53 サステナビリティ戦略
- 54 ステークホルダー・エンゲージメント
- 55 社会
- 63 環境

06 リスクテイクを支えるガバナンス

- 71 社長・社外取締役対談



- 75 コーポレート・ガバナンス
- 81 リスクマネジメント
- 82 コンプライアンス／腐敗防止／IR・SR活動

07 データセクション

- 83 財務・非財務サマリー
- 87 グループネットワーク
- 89 会社情報／外部評価・認証・イニシアチブ
- 90 株式関連情報

本レポートでお伝えしたいこと

本レポートでは、当社グループが創業以来100年にわたり培ったビジネスモデルや競争優位性の紹介や、経営戦略、ESG経営の取り組み、ガバナンス強化など、次の100年に向けたさらなる挑戦の源泉となる「PILLARの稼ぐ力」をテーマに編集しました。

POINT 01

新中期経営計画「One2030」がスタート 挑戦の精神で能動的に変革を起こして成長の道を拓く

[関連ページ](#) 社長メッセージ [P.7](#) / 競争優位の変遷 [P.27](#) / 新中期経営計画「One2030」 [P.33](#)

POINT 02

100年以上積み上げてきた「お客様のニーズに応え続ける技術力」で 技術と高付加価値製品の開発強化へ

[関連ページ](#) 特集 PILLARの営業・技術の「社内連携」を紐解く [P.13](#) / 強みと競争優位性 [P.26](#)

POINT 03

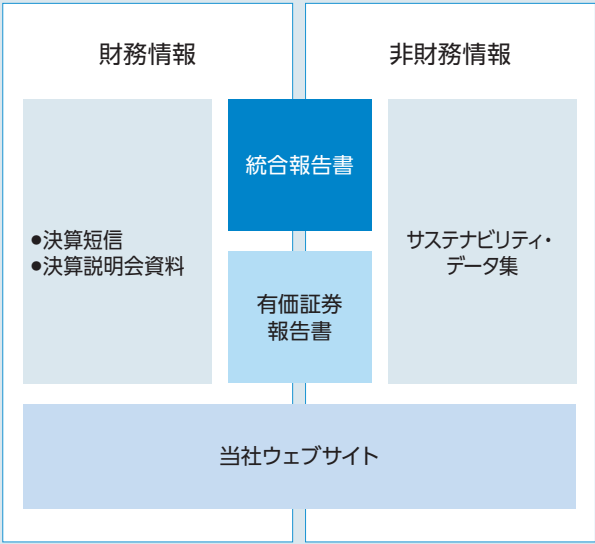
経営戦略と人財戦略を連動させ、稼ぐ力の源泉に資本を集中的に投下する

[関連ページ](#) 「稼ぐ力」の方程式 [P.17](#) / 副社長メッセージ（財務戦略・人財戦略） [P.37](#) / サステナビリティ戦略 社会 [P.55](#)

編集方針

当社の「統合報告書2026」は2025年度（2025年4月～2026年3月）を対象期間としていますが、2026年4月以降の情報を一部加えています。中長期的な経営戦略や財務情報のほか、当社グループの環境や社会への配慮、ガバナンスなどの非財務情報をご紹介します。本報告書は、ステークホルダーの皆様との円滑なコミュニケーションと、取り組み内容のさらなる向上を目的としています。編集にあたっては、価値報告財団（VRF）が発表した「国際統合報告フレームワーク」並びに、2017年5月に経済産業省が策定した「価値協創ガイダンス」を参考にしました。

【対象期間】
2025年4月1日～2026年3月31日
※一部対象期間外の情報も掲載しています。
【対象範囲】
株式会社PILLARおよびグループ会社



数字が語るPILLARの

世界で培ってきた競争力と確かな経営基盤をもとに、PILLARは2030年に向けてさらなる成長を目指します。

PILLARグループの現在地（2025年度）

受け継ぐ力



創業102年

1924年の創業以来培ってきた品質へのこだわり、お客様との信頼関係、そして現場起点のモノづくりの姿勢が、当社の揺るぎない基盤となっています。

伸び続ける力



売上高 成長率 14.5%

(直近5年間)

変化する事業環境に柔軟に対応しながら、着実に事業成長を遂げてきました。

世界で選ばれる力



継手の 世界シェア No.1

(半導体洗浄装置向け)



「スーパー300 タイプピラーフィッティング」

当社は、半導体洗浄装置向け継手で世界トップシェアを有しています。その競争力は、最先端産業の現場で選ばれ続けている実績に表れています。

技術を生む力



特許保有件数 1,054件

知的財産は、新たな製品・用途を創出する源泉として事業成長を支えています。

支える力



自己資本比率 75.2%

将来への投資を進めながら、変化に柔軟に対応できる経営基盤を築いています。

現在と2030

PILLARグループの2030像

次の収益水準へ



売上高 594億円 → 1,000億円

営業利益率 20.4% → 25.0%

売上規模の拡大と収益性向上を両立し、企業価値の向上を目指します。

世界で伸ばす



海外売上高比率

34.7% → 50%以上

重点地域・供給網への投資を通じて、グローバル成長を加速し、持続的な成長を実現します。

未来へ投じる



成長投資 312億円

(3ヶ年累計)

↓

900億円

(5ヶ年累計、研究開発費を含む)



タンケンシールセーコウ伊那工場
(2027年1月竣工予定)

設備投資、研究開発、M&Aなどに戦略的に資源を配分し、供給力と技術力の両面を強化していきます。

人財を厚くする



エンジニア人財数

191名 → 280名

エンジニア人財の育成・拡充を進め、持続的な成長を支える開発基盤を強化します。

還元を高める



配当性向 33.5%

→ 40%目標

資本効率と還元の両立を図り、持続的な企業価値向上につなげていきます。

脱炭素を進める



Scope1+2排出量 25%以上削減

→ 50%以上削減

事業成長と環境負荷低減を両立し、持続可能な社会への責任を果たします。